

年 組 名前:

ガラス瓶 建築資材に オキノ 葦崎に再生工場



スーパーソルにリサイクルされるガラス瓶（オキノ提供）

スーパーのオキノ（甲府市徳行1丁目、荻野寛二社長）は、回収したガラス瓶を建築などの用途に使われる資材「スーパーソル」にリサイクルする取り組みを始めた。スーパーソルは耐久性や耐火性、断熱性に優れた軽量発泡資材。リサイクル業のクリエート（甲府市）と、葦崎市に工場を構え、スーパーソル製造を手がけるアゼリア（東京）と協働で行う。

オキノ29店舗に設置されたリサイクルボックスで回収したガラス瓶をクリエートがアゼリア葦崎工場に運び込む。オキノが回収するガラス瓶は

年間約150万本で、このうち4割をスーパーソル、6割をこれまで通りガラス瓶として再生する。オキノは「循環型社会の構築を目指し、持続可能な開発目標（SDGs）の考えを取り入れ、社会的責任（CSR）活動に取り組んでいる。今後も地域社会を支える小売業者としてお客さまや取引先と一体となって環境に配慮した活動を推進していく」とした。店頭リサイクルは20年前から行っていて、ガラス瓶のほか、古紙や食品トレイ、ペットボトル、缶などを回収している。（山本昂輝）

（2024年5月12日付 山梨日日新聞5面）

問1

スーパーのオキノは、回収したガラス瓶を、なにに使う資材にリサイクルする取り組みを始めたか。

.....

問2

スーパーソルは、どのような点が優れている資材ですか。

.....

問3

年間約150万本を回収するガラス瓶を、スーパーソルとガラス瓶に再生する本数を答えてください。

・スーパーソル: 約 _____ 本 ・ガラス瓶: 約 _____ 本

問4

店頭リサイクルでは、ガラス瓶のほかに、なにを回収していますか。

.....